

松永彈正曲水宴毒害室

属之好弒君

之好松永確執動龍畿内

属焼大佛殿



繪本豊后勲功記二編卷之六

江戸 八功舎 徳水剛補

勢北攻本下説山路彈正 属 彈正真降

素仁中々親と遺るりのあらじ。いそぎ義小一てま君を後小するのあらじ。  
忠孝仁義難と云んば天神いぞうまを人ぞと守らざらんや。然る本下孫吉舟入。  
永祿元年の秋小く初て織田敬小はへまわらせ。忠信孝義を継く守り姑。  
も道小背うごとく。若小事を討しつゝ自然と立身出陣之十有餘年小信長  
と。虎澤二列のまこと。矢やらせ。そのまの。羽股の塔まこと。四郡の税租小孫せらる。  
其忠信孝義の流せと。後宣るうか。然不どに。永祿十一年も既小喜を明き  
同去来流放春を途下。と。多。然る小織田敬小を。年。勢列小出馬あり。と。由  
利きて帰國。と。多。山。路。が。備。降。と。情。り。事。小。征。伐。と。云。り。と。本。下。が。諫。小。や。む。事。を